



person



～枕崎のことをアピールできる映像を撮っていきたい～
近藤員代さん（国見町）

昨年の8月からMBCにふるさと特派員として活躍されている近藤員代さんが、平成16年度MBCふるさと特派員映像コンクールで優秀賞に輝きました。作品は『まくらぎ・えびす通りと港の風景』というタイトルで、水揚げの様子やかつお節工場の様子などが生き生きと表現されています。

「ビデオ撮影は趣味でやっています」という近藤さんは、他にも平成15年度県アマチュアビデオ作品コンクールで最優秀賞を受賞。また平成16年度の同コンクールでも優良賞を受賞されるなど、質の高い撮影技術が評価されています。

近藤さんは5年前、夫の正和さんと奈良県から枕崎へ来られました。

一番茶の味・香りなど厳正に審査

枕崎市茶業協議会荒茶品評会

枕崎市茶業協議会の荒茶品評会が5月13日、JA南さつま枕崎支所で開催され、一位に大河内茶工場が選ばされました。

市内44工場から93点出品され、うち3キロを採取し、県茶業試験場と県経済連、川辺農業改良普及センターなどの職員が審査員となり、外観、香り、味、水分を審査してきました。

昨年の干ばつ、台風等の影響が心配されました。が、味、香とも質の高いものが出品され、技術の向上がみられました。

2位以下の入賞は次のとおり。



枕崎市茶業協議会会長 篠原謙次さんのお話
今年の一番茶のスタートは気象の関係から一週間遅れで摘採となりました。収穫量は少なかつたですが、価格は昨年よりも高値で取引されました。最近では、ドリンクメーカーがペットボトルなどの原料に、安全な国産の茶葉を使うようになり、夏茶（2・3番茶）も需要が高まっています。

平成15年度から、茶の生産から製造までの生産履歴の記帳と開示を行っています。このことで枕崎茶への信頼がますます高まっています。

若い後継者も育つており、今後は更に品質を高めながら、消費者の皆様に信頼され、喜ばれる産地を築いてまいります。

かつお料理コンテスト



美味

かつお料理コンテスト

薩地域地場産業振興センターで5月1日、「かつお料理コンテスト」が行われ、参加者たちがカツオを使った自慢料理で競い合いました。

審査は、事前に応募があった35点の中から絞り込んだ11点の料理が会場に並べられ、味、見た目、独創性などを基準に、神園市長をはじめ8人の審査員が行いました。

その結果、見事最優秀賞に輝いたのは、今回唯一の男性出品者、新屋敷幸隆さんが作った『今夜はかつおDEパーティー』でした。新屋敷さんは「カツオのデコレーションケーキみたいなものを作りました。多くの人にカツオを食べてもらうために、これからもいろいろな料理を研究していく」と語っていました。

総評で大茂逸子商工会議所女性部会長は、「全部の料理がおいしくて、すぐにでもお店で出せる料理。今日使われたカツオは幸せ者だったでしょう」と述べていました。

かつお料理コンテスト入賞作品は、今月から広報紙の裏表紙でレシピと一緒に紹介していきます。

建物地番表示板を贈呈（枕崎郵便局）

現在、町名等整理事業により新しい地番が設置されていますが、これに伴い枕崎郵便局から各世帯などに建物地番表示板が贈呈されます。事業の実施地区で新築・改築（貸家・倉庫を含む）などにより、まだ表示板を設置されていない方や表示板を破損した方は、次までお申込みください。

該当地区：枕崎・立神・桜山・金山地区及び別府の施行実施地区（板敷・俵積田・中原・瀬戸の公民館区域）

申込先：財政課登記町名係
TEL 7-2-1-111 内線3228
申込期限：6月30日（木）まで

